

2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年2月13日

上場会社名 アマテイ株式会社 上場取引所 東・名
コード番号 5952 URL https://www.amatei.co.jp/
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐藤 亮
問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理本部長 (氏名) 川上 剛司 (TEL) 06-6411-1236
四半期報告書提出予定日 2024年2月14日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	4,209	2.1	138	1.0	131	△0.5	111	18.7
2023年3月期第3四半期	4,123	7.6	136	826.3	131	—	94	—

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 111百万円(18.7%) 2023年3月期第3四半期 94百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	9.42	—
2023年3月期第3四半期	7.94	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	5,563	1,350	24.3
2023年3月期	5,595	1,257	22.5

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 1,350百万円 2023年3月期 1,257百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	1.50	1.50
2024年3月期	—	0.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	2.50	2.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,500	0.3	165	2.3	155	2.7	120	50.9	10.12

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

期中における重要な子会社の異動に関する注記

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用に関する注記

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

会計方針の変更に関する注記

- (4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数(四半期累計)

2024年3月期3Q	12,317,000株	2023年3月期	12,317,000株
2024年3月期3Q	463,004株	2023年3月期	461,004株
2024年3月期3Q	11,855,527株	2023年3月期3Q	11,856,800株

発行済株式数に関する注記

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
3. 補足情報	10
(1) 生産、受注及び販売の状況	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、物価上昇に伴うインフレーションが進行する中、個人消費が緩やかながら回復に向かいました。国内では依然低金利政策が継続されたことで景気を下支えしつつ、米国経済が堅調推移したことにより、円安効果もあって輸出が促進され、海外からのインバウンド需要も復活し、多くのセクターにおいて企業業績の改善に寄与した結果、日経平均株価は上昇しました。

一方、米中間による経済安全保障問題の表面化、不動産不況に始まった中国経済の失速、中東情勢の緊迫化、ロシアによるウクライナ侵攻も収束しない中、海外情勢は地政学的リスクを抱えた不安定な状況にあります。そのため、今後もサプライチェーン・物価・為替変動への影響には充分留意することが必要となります。

当社の主要販売先となる国内建設市場では、第3四半期累計期間における新設住宅着工戸数は61.8万戸と、前年同期間と比較して6.3%減少しております。他方、国内自動車生産は、品質問題や工場災害により一時的な生産停止はありましたが、半導体不足も解消し中部圏を中心に堅調な回復が見られ、本年4～11月の国内乗用車生産台数(確報値)は前年同期間と比べ20.8%増加となりました。

この様な環境下、当第3四半期連結累計期間の売上高は、4,209百万円(前年同四半期4,123百万円、2.1%増)となり、その内訳は建設・梱包向が3,108百万円(前年同四半期2.5%減)、電気・輸送機器向は1,101百万円(前年同四半期17.7%増)であります。売上総利益は、710百万円と前年同四半期に比べ20百万円(2.8%減)の減益となり、これは建設・梱包向及び電気・輸送機器向において、販売価格の維持、高付加価値製品の販売比率改善、生産性の向上による製造コストの削減が進んだ一方、原材料やエネルギーコストを始め諸製造費用の増加が収益を圧迫したことが主要因となります。営業利益は、138百万円(前年同四半期136百万円)と若干の増益となりました。賃上げや諸経費増加の影響がありましたが、運賃コスト抑制や固定費削減活動推進により、販売費及び一般管理費が前年同四半期に比べ21百万円減少したことによりです。経常利益につきましては、131百万円(前年同四半期131百万円)となりました。最終的な親会社株主に帰属する四半期純利益は、法人税等が19百万円と負担が軽減された影響にて、111百万円(前年同四半期94百万円)と改善いたしました。

当四半期連結累計期間におけるセグメントの業績は、次のとおりであります。

(建設・梱包向)

当社グループの主たる事業である建設・梱包向のうち建設向は、資材価格高騰に起因する住宅価格上昇の影響を受けて、持家を中心に新設着工戸数が減少傾向にある中、当社の販売数量も前年同四半期対比で減少となりました。収益面では、販売価格の上昇が数量減少を補完した形となり、当セグメントの売上高は、3,108百万円と前年同四半期に比べ79百万円減(2.5%減)に留まりました。また、海外OEM商品と国内生産品のプロダクトミックス最適化、および固定費削減の結果、セグメント利益は前年同四半期に比べ14百万円減の229百万円となりました。

(電気・輸送機器向)

電気・輸送機器向セグメントは、連結子会社である株式会社ナテックの当第3四半期(1～9月)において、メインユーザーである自動車業界の生産回復を受けて、同社の生産も高水準で推移しました。特に、電気自動車・ハイブリッド車関連のバッテリー・モーター及び自動運転化関連に使用されるライセンス品やボルト・特殊締結品の需要回復が引き続き顕著であります。また家電や遊戯関係向けの需要も同様に堅調推移しました。この結果、当セグメントの売上高は、1,101百万円と前年同四半期に比べ165百万円増(17.7%増)となり、セグメント利益は前年同四半期に比べ12百万円増の55百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、5,563百万円(前連結会計年度末[以下「前年度末」という]比32百万円減)となりました。流動資産は、前年度末に比べ39百万円増加し、3,636百万円となりました。これは現金及び預金で320百万円、売掛金58百万円増加し、棚卸資産が327百万円減少したこと等によるものであります。

固定資産は、前年度末に比べ72百万円減少し、1,926百万円となりました。これは主に有形及び無形固定資産の設備投資が62百万円の増加に対して、減価償却費114百万円を計上したこと等によるものであります。

(負債)

負債合計は、前年度末に比べ126百万円減少し、4,212百万円となりました。流動負債は、前年度末に比べ152百万円減少し、2,971百万円となりました。これは前年度末に比べ支払手形及び買掛金が20百万円、短期借入金が120百万円減少したこと等によるものであります。固定負債は、前年度末に比べ26百万円増加し、1,240百万円となりました。有利子負債全体（短期借入金及び長期借入金の合計）は、前年度末に比べ114百万円減少、2,688百万円となっています。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前年度末に比べ93百万円増加し、1,350百万円となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益が111百万円、剰余金配当による支払いが17百万円であったことにより、利益剰余金が93百万円増加したこと等によるものです。この結果、自己資本比率は24.3%（前年度末22.5%）となり、1株当たり純資産額は113.96円（前年度末106.05円）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第4四半期以降の業績に関して、建設・梱包向は、物価が安定し始めることによって個人消費が緩やかに回復することが期待されるものの、資材価格高騰による住宅価格上昇の影響を受けて、持家を中心に新設住宅着工戸数の減少傾向が続くと見込んでいます。しかし、カーボンニュートラルへの取組みが社会的に重要視される中、非住宅中高層建築物への木材活用が大々的に進み、当社オリジナル製品の需要、特に高機能が求められる特殊釘への需要は着実に伸びていくものと期待しています。

収益面では、国内製品の製造コスト及び輸入商品の仕入価格が高水準で推移していることを踏まえ、適正価格での販売を継続しながら、工場の省人化投資・自動運転等によって一層の生産性向上、コスト削減を重点課題として取り組んでまいります。

電気・輸送機器向は、引き続き各自動車メーカーがバックログの解消と旺盛な需要に応えるため、一層増産体制にシフトしていくことが見込まれており、為替相場も追い風になり輸出拡大が生産量増加に拍車をかけるものと見られています。特に、電気自動車など環境対策車への需要は益々増加してくるものと見られており、自動車メーカーの生産増加に牽引され、当社子会社製品の出荷量も大きく伸長していくものと期待しております。

収益面では、高付加価値のライセンス製品やオリジナル加工品であるパーツフォーマー製品等の主力製品の販売が今後も着実に増加し、全体収益を押し上げていくことが想定されます。

上述の状況を踏まえ、2024年2月13日に2024年3月期の業績予想の修正を公表いたしております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	422,490	743,288
受取手形	314,910	302,022
売掛金	894,438	953,085
電子記録債権	264,898	264,882
商品及び製品	1,005,541	812,190
仕掛品	331,329	289,722
原材料及び貯蔵品	339,023	246,085
前払費用	14,636	16,380
その他	14,553	14,768
貸倒引当金	△4,596	△5,600
流動資産合計	3,597,224	3,636,826
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	637,666	607,061
機械装置及び運搬具（純額）	424,581	377,550
土地	732,441	732,441
その他（純額）	42,177	47,075
有形固定資産合計	1,836,867	1,764,129
無形固定資産		
ソフトウェア	17,241	38,004
その他	19,248	0
無形固定資産合計	36,490	38,004
投資その他の資産		
投資有価証券	226	226
長期前払費用	12,489	8,022
繰延税金資産	9,638	10,495
その他	114,739	117,123
貸倒引当金	△11,831	△11,691
投資その他の資産合計	125,262	124,177
固定資産合計	1,998,621	1,926,311
資産合計	5,595,845	5,563,138

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	715,356	694,631
電子記録債務	311,421	303,082
短期借入金	1,804,084	1,683,150
未払法人税等	44,499	11,827
未払消費税等	4,939	89,819
未払費用	70,546	58,243
賞与引当金	72,064	37,937
役員賞与引当金	6,910	6,417
その他	94,364	86,354
流動負債合計	3,124,185	2,971,463
固定負債		
長期借入金	999,316	1,005,507
繰延税金負債	4,266	788
役員退職慰労引当金	29,147	36,047
退職給付に係る負債	181,399	188,113
資産除去債務	249	249
その他	—	10,042
固定負債合計	1,214,378	1,240,748
負債合計	4,338,564	4,212,211
純資産の部		
株主資本		
資本金	615,216	615,216
資本剰余金	76,094	75,965
利益剰余金	607,174	701,126
自己株式	△41,203	△41,381
株主資本合計	1,257,281	1,350,926
純資産合計	1,257,281	1,350,926
負債純資産合計	5,595,845	5,563,138

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	4,123,400	4,209,879
売上原価	3,393,142	3,499,818
売上総利益	730,257	710,061
販売費及び一般管理費	593,261	571,680
営業利益	136,995	138,381
営業外収益		
受取利息	7	9
その他	5,248	4,968
営業外収益合計	5,255	4,978
営業外費用		
支払利息	10,015	11,239
その他	323	882
営業外費用合計	10,338	12,121
経常利益	131,913	131,237
特別損失		
固定資産除却損	1,041	245
特別損失合計	1,041	245
税金等調整前四半期純利益	130,872	130,992
法人税、住民税及び事業税	36,698	23,590
法人税等調整額	44	△4,334
法人税等合計	36,743	19,255
四半期純利益	94,129	111,736
親会社株主に帰属する四半期純利益	94,129	111,736

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	94,129	111,736
四半期包括利益	94,129	111,736
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	94,129	111,736
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	合計
	建設・梱包向	電気・ 輸送機器向	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,187,458	935,942	4,123,400	—	4,123,400
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	3,187,458	935,942	4,123,400	—	4,123,400
セグメント利益	244,005	43,379	287,384	△150,389	136,995

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	287,384
セグメント間取引消去	—
全社費用(注)	△150,389
四半期連結損益計算書の営業利益	136,995

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	合計
	建設・梱包向	電気・ 輸送機器向	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,108,252	1,101,627	4,209,879	—	4,209,879
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	3,108,252	1,101,627	4,209,879	—	4,209,879
セグメント利益	229,498	55,592	285,091	△146,709	138,381

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	285,091
セグメント間取引消去	—
全社費用(注)	△146,709
四半期連結損益計算書の営業利益	138,381

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

① 生産実績及び仕入実績

当第3四半期連結累計期間における生産高及び仕入実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	生産高及び仕入実績(千円)	前年同期比(%)
建設・梱包向	2,382,371	△19.3
電気・輸送機器向	922,827	+20.5
合計	3,305,198	△11.1

(注) 1 金額は、生産高は製造原価、仕入実績は仕入価格によっており、セグメント間の取引については相殺消去しています。

2 上記の金額には、消費税等は含まれていません。

② 受注実績

当第3四半期連結累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高(千円)	前年同期比(%)	受注残高(千円)	前年同期比(%)
建設・梱包向	3,077,129	△4.9	333,829	△11.8
電気・輸送機器向	1,084,618	+10.1	117,300	△27.9
合計	4,161,748	△1.4	451,129	△16.7

(注) 1 金額は、販売価格によっており、セグメント間の取引については相殺消去しています。

2 上記の金額には、消費税等は含まれていません。

③ 販売実績

当第3四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

事業の種類別セグメント	販売高(千円)	前年同期比(%)
建設・梱包向	3,108,252	△2.5
電気・輸送機器向	1,101,627	+17.7
合計	4,209,879	+2.1

(注) 1 金額は、販売価格によっており、セグメント間の取引については相殺消去しています。

2 当第3四半期連結累計期間における主な相手先別の販売実績および当該販売実績に対する割合は次のとおりであります。

相手先	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	
	金額(千円)	割合(%)	金額(千円)	割合(%)
大東スチール株式会社	849,570	20.6	929,027	22.1

3 上記の金額には、消費税等は含まれていません。